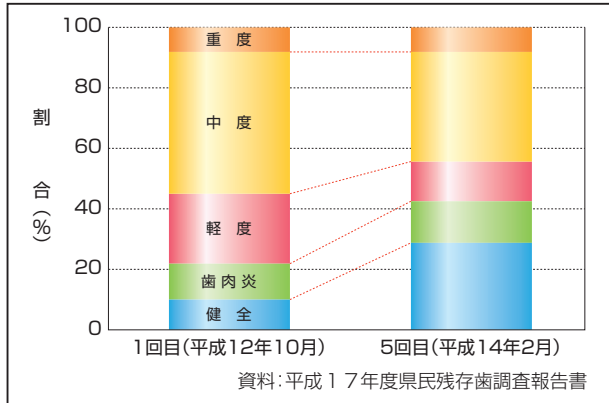


歯の定期的な管理

口の中の病気(むし歯、歯周病)は、早期発見、早期治療だけでなく、予防や維持管理をすることで医療費を少なくすることが可能です。

継続的な歯科管理を行った方の歯周疾患改善状況

平成12年に行った8020 チャレンジ事業(事業所を中心に歯科健診と歯みがき指導を定期的にうける)によって、お口の中の定期的な管理が歯周病の予防に効果があることがわかりました。

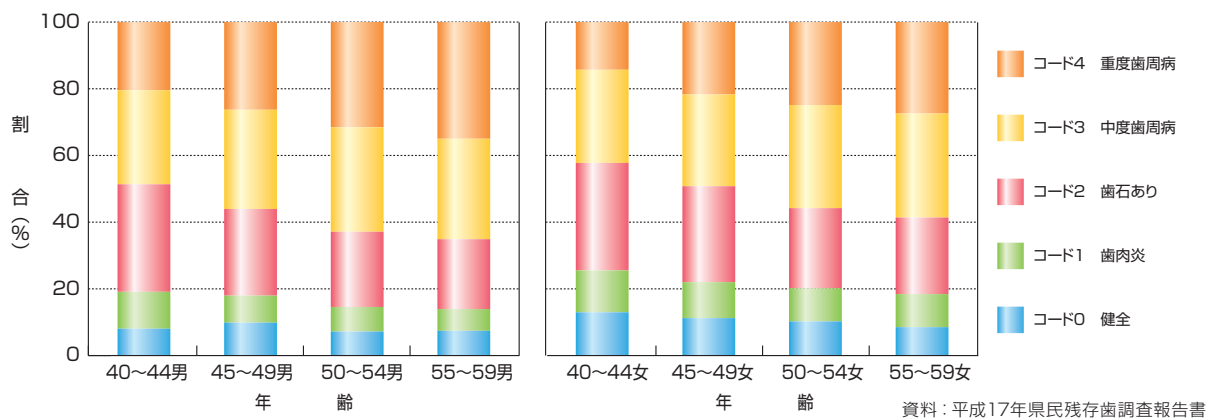


歯肉の状態	自覚症状
重度歯周病	抜けそうなくらい歯が動く 痛くてかめない
中度歯周病	膿が出ている ときどき歯肉が腫れる 少し歯が動く
軽度歯周病	朝起きると口がねばねばする 口臭がするようになった むし歯でもないのに水がしみるようになる
歯肉炎	歯肉が赤く腫れぼったい 歯磨きをすると出血する
健康な歯肉	自覚症状なし

年代別CPIコード別分布

CPIコードは歯周病の進行の程度を大まかに分類できることから、分布表の「0」を見ると、女性よりも男性の方が歯周病が進行しているという傾向が顕著に表れています。

また、5歳刻みの分布で考えても、最も多いCPIコードは、男性では40~44歳で「2」、45~49歳で「3」、50~54歳で「4」、55~59歳で「4」であるのに対し、女性はそれぞれ「2」、「2」、「3」、「3」とすべての年齢でも男性の方が、歯周病が進行している傾向が読み取れます。



いつもしっかり磨いているつもりでも、こんなに汚れていました。



これを専用の器具を使ってきれいにしてもらい、むし歯は詰めてもらいました。



定期的な検診と歯のクリーニングを行うといいですね。